

副資材

使用用途	プライマー			
	溶剤系プライマー		水性プライマー	
製品名	3M™ プライマー		3M™ 水性プライマー	
品番	EC-1368NT	DP-900N3	WP-137M	WP-2000
容量(サイズ)	1ℓ/ 18ℓ		2ℓ	4ℓ
	種類	合成ゴム系	合成樹脂系	合成樹脂系
製品仕様・特長	塗布基材・特長	下記の表をご覧ください	下記の表をご覧ください	下記の表をご覧ください
	使用法	溶剤で2～3倍希釈	原液のまま使用	下地により、原液から3倍希釈の間で使用
	参考塗布量	10～15㎡/ℓ (希釈後)	15～30㎡/ℓ (吸い込みのない下地の場合)	15～30㎡/ℓ (希釈後)
	色	黄褐色	淡黄色透明	青色
	固形分	約25%	約12%	約37%
	粘度	200mPa・s	4.5mPa・s	300～1200mPa・s (23°C)
	有効期間	未開封の状態 で貼付ラベル使用可能期限まで	未開封の状態でご購入後1年以内	未開封の状態でご購入後6ヶ月以内
	F☆☆☆☆認定番号/登録番号	MFN-1828	JAIA-011050	JAIA-009690

貼り付け基材別下地調整

各種下地基材(横列)に対して、縦列の手順に従って下地処理を行ってください。
 3M™ ダイノック™ フィルム EXシリーズ(屋外耐候性フィルム)の施工にあたっては、EXシリーズの取扱説明書をご確認ください。長期耐候性製品のためプライマーの選定が下表と異なります。

	石膏ボード ケイ酸カルシウム板	モルタル	塗装鋼板	りん酸塩処理 電気亜鉛めっき 鋼板	アルミニウム ステンレス	ガラス	シナベニヤ ラワンベニヤ
前処理	釘頭処理	金ゴテ仕上げ 乾燥状態確認	サビ、異物の除去	サビ、異物の除去	サビ、異物の除去		釘頭処理
パテ処理 (注1)	粉体パテ エマルジョンパテ	粉体パテ エマルジョンパテ	ポリエステル系パテ	ポリエステル系パテ	ポリエステル系パテ		シーラー処理 (注7)
表面処理	#180 サンドペーパー	#180 サンドペーパー	グラインダー (突起・溶接部) #180 サンドペーパー (平面部)	グラインダー (突起・溶接部) #180 サンドペーパー (平面部)	グラインダー (突起・溶接部) #180 サンドペーパー (平面部)		パテ処理 (注1)
表面清掃 (注2)	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	表面処理 (注1)
プライマー処理 (注3)	WP-137M WP-2000 EC-1368NT DP-900N3 全面	DP-900N3 全面	EC-1368NT DP-900N3 端部	WP-137M EC-1368NT DP-900N3 端部	WP-137M EC-1368NT 端部		表面清掃 (注2)
塗布部分							プライマー処理 (注3)
注意事項	AM,HG,VMシリーズで不燃認定に適合するためにはWP-2000もしくはEC-1368NTをご使用ください。WP-137MやDP-900N3を使用した場合は不燃認定に該当しません。	モルタル打設後、3週間以上乾燥させてください。	右記(注4)(注5)参照。プライマー塗布により下地を傷す恐れがあります。	右記(注5)参照。	DP-900N3を使用した場合、接着不良を起こす場合があります。アルミニウムは不燃にならない場合があります。	右記(注6)参照。	塗布部分
							注意事項

有機溶剤を現場で使用できない場合は、乾燥時間がかかりますが水性(下記青字)での下地調整を行ってください。

プライマー処理	3M™ ダイノック™ フィルム 貼り付け作業	3M™ ダイノック™ フィルム Dボード工法 取り付け作業	3M™ ダイノック™ フィルム 清掃・剥離作業	
マスキングテープ	スキージー	両面テープ	清掃・剥離作業	
スコッチ® シーリング・マスキングテープ	3M™ スキージー	3M™ ポリエチレン フォームテープ	3M™ クリーナー20	3M™ クリーナー30
79H	PA1-WHITE、PA-4、PA-5	MIX-313	CLEANER20	CLEANER30
15mm×18m / 18mm×18m	下記参照	20mm×15m	330mℓ	330mℓ
青色平面紙にアクリル系粘着剤を塗布した片面粘着テープ。プライマー塗布時に、不要な部分への塗布を防ぐためにマスキングします。 ・厚さ / 0.09mm ・引張強さ / 34.0N/cm ・伸び / 7% ・接着力(180度方向) 1.2N/cm ・特長 - 強度に優れた基材を使用しているため、テープ剥離時になめ切れにくい。 - 直線性に優れた基材を使用しているため、真っ直ぐに貼りやすい。 - 基材はコシがありしっかりとしているが、手切れ性にも優れている。	3M™ ダイノック™ フィルムを貼り付ける際に最適な圧着用具、やわらかい布などを巻きつければ、繊細な表面性のシリーズの貼り付け作業等でもご使用いただけます。 ・サイズ/ PA1-WHITE: 73mm×103mm PA-4: 75mm×104mm(台形) PA-5: 72mm×150mm(広幅)	ポリエチレンフォーム基材の両面にアクリル系粘着剤を塗布した両面粘着フォームテープ。 クッション性のある汎用テープとして、Dボード工法の1次接着剤として優れた接着力を発揮します。 ・主成分 基材/ポリエチレンフォーム 粘着剤/アクリル系 ・厚さ / 1.10mm ・引張剪断接着力(対ステンレス板) / 31N/cm ² ・単軸引張接着力(対ステンレス板) / 41N/cm ² ・特長 - 冬場の低温時でも安定した貼り付けが可能です。 - 手切れ性が良く作業成功率が向上します。	3M™ ダイノック™ フィルムを傷めずに汚れを落とすエアゾール式のクリーナーです。主成分は天然の柑橘油で、石油系溶剤は含んでいません。フィルム表面の清掃には使用しないでください。使用後に錆を発生させる心配はなく、簡単に水洗いできます。該当しますので取扱にご注意ください。また、高圧ガスと有機溶剤が含まれていますので、使用時には十分な換気を行い、熱と火気に注意してください。 ・主成分 / イソプロピルアルコール ・色 / 透明	すぐれた浸透力で様々な汚れを溶解する洗浄力の高いクリーナーです。主成分は天然の柑橘油で、石油系溶剤は含んでいません。フィルム表面の清掃には使用しないでください。使用後に錆を発生させる心配はなく、簡単に水洗いできます。該当しますので取扱にご注意ください。また、高圧ガスと有機溶剤が含まれていますので、使用時には十分な換気を行い、熱と火気に注意してください。 ・主成分 / 柑橘油 ・色 / 透明

MDF	塩ビ鋼板 重ね貼り	メラミン板 ポリエステル板	アクリル/ABS 人工大理石 硬質塩ビ
釘頭処理	表面状態確認	釘頭処理	
水性シーラー 溶剤系シーラー		水性シーラー 溶剤系シーラー	
ポリエステル系パテ	ポリエステル系パテ	ポリエステル系パテ	ポリエステル系パテ
#180 サンドペーパー	#180 サンドペーパー	#180 サンドペーパー	#180 サンドペーパー
水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー
WP-137M WP-2000 EC-1368NT DP-900N3 全面	DP-900N3 全面	DP-900N3 全面	DP-900N3 全面
必ずシーラーを塗布して下地を必ず乾燥させてください。			プライマー塗布により下地を傷す恐れがあります。

推奨副資材

下記他社製の副資材については各社の最新情報をご確認ください。

- 水系シーラー
 - ・マイティシーラーマルチ(大日本塗料)
 - ・エマルジョンパテ WD/パテ仕上げ用(中央ペイント)
 - 溶剤系シーラー
 - ・マイティシーラーS(大日本塗料)
 - パテ
 - ・粉体パテ タイガージョイントセメント^{※1}(吉野石膏)
 - ・ポリエスチル系パテ 極120(ソーラー)/NEOX^{※2}中間パテ120(関西ペイント)
- ※1 タイガージョイントセメントは、吉野石膏株式会社の商標です。
 ※2 NEOXは、関西ペイント株式会社の商標です。

- 注1 パテは、下地基材のつなぎ部分やへこみを埋める際に使用します。パテ使用後、サンドペーパーなどで平滑に仕上げます。
 注2 表面清掃時に中性洗剤を使用した場合は、水で拭き取り、プライマー塗布前に十分に乾燥させてください。
 注3 プライマーは下地基材との接着性向上のために使用します。特にDP-900N3は下地基材からのアルカリや可塑剤の影響を止める効果があります。ポリエステル系パテの上にはDP-900N3を塗布してください。
 プライマーの乾燥時間は、EC-1368NT・DP-900N3・WP-137Mは30分以上、WP-2000は2時間以上です。ただし、冬季(10°C前後)にWP-137Mを使用する場合は1時間以上、DP-900N3を使用する場合は3時間程度必要です。WP-137M、DP-900N3を使用して、3M™ ダイノック™ フィルム AMシリーズ、VMシリーズ、HGシリーズを不燃材料(金属板を除く)に施工する場合は、国土交通省防火認定番号(NM-3108、3137)に該当しません。EC-1368NTもしくはWP-2000をご使用ください。
 注4 塗装下地に貼る場合は、塗装と下地との密着性を確認してからフィルムを貼り付けてください。塗装の密着性が十分でない場合、施工後にフィルムが浮いたり剥れたりする恐れがあります。プライマーはDP-900N3もしくはEC-1368NTを使用しただけで十分に乾燥させてください。EC-1368NTはDP-900N3に比べて、フィルムを貼り付けた後に剛毛ムラが目立つ場合がありますので、事前に外観をご確認ください。なお、事前にプライマーを目立たない場所に塗布し、塗装を傷さないことを確認してください。
 注5 鋼板に錆止め塗装をする場合、JIS規格に適合するものをご使用ください。
 注6 ガラスへの施工時の注意事項
 ガラスに貼る場合は汚れを除去してから直接貼り付けてください。直射日光が当たる場合は、ガラスが熱割れを起こす恐れがありますので、ご注意ください。
 日射が当たる外壁ガラス室内側への施工は、紫外線により粘着剤が劣化するため、お勧めしません。
 屋外のガラスに貼り付ける場合は、雨水や結露など水分の影響を受けやすい部位に施工してください。浴室内のガラス等、水分の影響を受けやすい部位への施工はお勧めしません。水分の影響により、フィルムが剥がれてくる恐れがあります。光が透過する環境ではフィルム製造時のムラが見える場合があります。糊着面にある空気抜き溝が見える場合があります。裏面に印字されている○○PPマークが見える場合があります。
 注7 シーラーは下地基材の吸い込み調整と、下地基材からのアクアアルカリの影響を止める働きがあります。